



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS

JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT

TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

THE SMILE-RING Chart ered in Feb.20, 2020



2023年

6月号 (第42号)

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

「当クラブは町田ボランティア連絡協議会に所属する公認団体です」

《今月のことば》

すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二籠もあった。

(マタイによる福音書11章 28～30 節)

《6月号巻頭言》 為我井輝忠



去る6月5日(月)に3クラブ合同例会(町田コスモスクラブ、多摩みなみクラブ、町田スマイリングクラブ)が開催されました。おそらくこれが最後の合同例会になるものと思われます。これまで1年半以上も3クラブが隔月に合同で例会を開いてきましたが、これは近い将来3つのクラブの統合化を見据えて行ってきたものです。今年になって統合化に向けての話し合いが進み、7月には統合発会式を開くところまで進んできました。ところが、突如町田コスモスクラブが異を唱えて、加わらないことになり、2クラブのみでの統合ということになりました。正に「青天の霹靂」です。

このような土壇場になっての決定は考えられないことです。

ともあれ7月6日(木)に「東京多摩スマイル」という名称で統合発会式が行われます。東新部の皆さんだけでなく近隣のクラブの皆さんのご出席をいただき、再出発を祝っていただくと嬉しく存じます。

今後、例会は玉川学園コミュニティセンターと多摩永山のベルグ永山で交互に開催することになります。

今後、例会は玉川学園コミュニティセンターと多摩永山のベルグ永山で交互に開催することになります。

《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利を伴う』

国際会長 Ulrik Lauridsen (ウルリック・ラウリドセン) (Denmark)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア・太平洋地域会長 沈 淇銘 (シェン・チ・ミン) (台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

東新部部長 深尾 香子 (東京多摩みなみ) 「All 東新部、始動! Change!

2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

クラブ会長 為我井 輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長!」

クラブ役員 書記: 尾張 日出夫 会計: 城田 教寛 担当主事: 諏訪 治邦

《7月新クラブ発会式プログラム》

日時: 7月6日(木) (19:00~20:30 予定)

会場: 玉川学園コミュニティセンター 2階 1B・2 連結

第1部 新クラブ発会式及部長公式訪問 (19:00~)

司会: 田中博之 (東京多摩スマイルクラブ書記)

*開会点鐘・挨拶 伊藤幾夫 (東京多摩スマイルクラブ会長)

*ワイズソング

*東新部部長挨拶 今井武彦 (東京むかでクラブ)

*ゲスト・ビジター紹介 司会より

*クラブ統合経過報告 深尾香子 (東新部直前部長)

*祝辞 東日本区理事 山田公平 (宇都宮クラブ)

*決意表明とクラブメンバー・役員紹介 伊藤幾夫

*来賓祝辞 (予定)

*東京YMCA主 菅谷淳

*東日本区会員増強事業主任 進藤重光 (東京クラブ)

*東新部会員増事業主査 加藤義孝 (東京クラブ)

*閉会点鐘・伊藤幾夫 (東京多摩スマイルクラブ会長)

第2部 懇親会 (20:00~20:30)

司会: 為我井輝忠 (東京多摩スマイルクラブ副会長)

*各種アピール、YMCA 報告、今後の予定、スマイル献金等

*YMCA の歌 ……閉会

第 26 回東日本大会開催される

※会 場：アピオ甲府

※開催日：6月3日(土)～4日(日)

今回のテーマは「かふふ・く」ということで、「かふふ」とは「こうふ」のことで、それをもじって、さらに幸福と読み、「甲府に来て幸福になってもらう」という意味だそうである。甲府 21 ワイズメンズクラブがホストとして動いてくれました。スマイリングクラブからは城田氏と私が参加しましたが、果たして幸福になれたでしょうか。



最初に、代議員会が開催されました。今回承認されたことは、次期山田公平理事が通常1年間の任期を2年間行うことです。これは YMCA の若手リーダーによる社会貢献活動等を大規模にワイズが支援し、その効果が出るのは最低でも2年を要するということが根底にあります。

プログラムは、3日はバナーセレモニー、開会式、俳優石丸謙二郎氏の講演、ユースアワー、晩餐会が行われ、4日は日曜礼拝、東日本区アワー（事業報告、東日本区奈良傳賞、理事就任、引継ぎ式）、閉会式と続きました。

あわただしいスケジュールでしたが、東日本区の多くの方々とお会いし、至福の時を持つことが出来たと言ってもよいでしょう。大会を成功に導いた関係者の皆様に感謝します。（為我井記）

クラブ統合に向けて

予ねてより懸案課題であった2クラブの統合化がや

っと7月6日に発会式を迎えることになりました。

当初は3クラブ（東京多摩みなみクラブ、東京町田コスモスと我が東京町田スマイリングクラブ）の統合ということで、これまで1年以上話し合いが続けられてきましたが、4月に入りコスモスクラブからクラブ統合には参加しないと表明され、最終的には2クラブでの統合となりました。

統合化によって、当クラブはメリットがあると判断した次第ですが、今後「東京多摩スマイルクラブ」の地域性を活かし、両者の良い所を取り入れて進んでいきたいと思えます。発会式は7月6日（木）午後7時から玉川学園コミュニティ・センターで行いますので、皆様のご出席をいただければ幸いです。（為我井記）

バングラデシュの今とこれから（2）池田麻梨子



1965年にダッカYMCAが誕生し、1974年にバングラデシュYMCAの同盟ができました。現在バングラデシュのYMCAが力を入れているのは人の育成、メンタルヘルスなどです。色々な研修活動も活潑に行っています。ユースの活動も盛んになっており、勉強会を行っています。また、災害発生時にはボランティア活動等で活躍しています。

バングラデシュYMCAでは識字率の向上に努めており、1975年頃の識字率は26%でしたが今では76%になり飛躍的に向上しています。

ダッカから20km離れたサバールと言う高速道路沿いの町にYMCAの施設があり、若い女性の働き口を確保することにも力を入れています。

ミャンマーからの難民の移入が増えており、元より人口の多い国なので大きな問題になっています。

気候の変動によって異常気象による洪水も増えており対策すべき課題がとても多いのです。

YMCAにはゲストハウスがあり海外からのお客様を泊めています。同地の学校は教室が一つだけなので、年齢の異なる30人位の生徒を先生が一人で受持っており大変だと思いました。私は日本からの来客だったので、卒業生が大勢集まって近況を話して下さった。

ナースになりたいと言う子や国内旅行をしたいと言

うが多かったのが印象に残りました。

翌日はインド国境に近いビリシリYMCAを訪問しゲストハウスに泊まった。YMCAでは英語・算数・バングラデシュ語を教えていました。

ビリシリから近いところにバハバラYMCAがあり、ここでも大歓迎して頂いた。

現地には病院が無いのでクリニックを開いて欲しいと言う要望が多いそうです。

バングラデシュでは川の傍に住んでいる人が多いので洪水の被害に遭遇することが多いのですが、川は流通の利便性があるので流域に住んでいるのです。昔は清流だったが今は汚染された泥水で汚く危険です。しかし、たとえ被害のリスクがあっても川を離れません。川を離れることは死活問題なのです。

※この後は活潑な質疑応答がありました。

不思議なご縁（２） 松林蓉子



スリランカを4度目に訪れた2013年1月10日から13日までの4日間はもったいないほどの日程であった。その時のアルバムの中に、町田スマイリングクラブの為我井輝忠会長とご一緒の写真が残されている。

わざわざ日本からスリランカまで飛んで来られたわけではない。たまたま、スリランカに住んでいられた。日本語の指導のためにケラニア大学で教えていられたのである。

何という奇遇であろう。それは、ガンパハに「日本文化会館（蓮華文化センター）」落成法要式典での再会である。同地にあるサーママハ・ヴィハラヤ（平和寺）のタランガッレ・ソーマシリ師（以後、ソーマ師と略称）からご招待を受けられたのであろうか。2001年に第3代住職が逝去された後、第4代ソーマ師が就任されたが、その頃までは椰子の葉で屋根を葺いたホールだけが建っていた。その場所に日本寺院檀家の方々の援助によって、1階に幼稚園、2階に僧侶養成学舎が建てられたのである。しかし、内戦と経済悪化で、3階は未完成のまま10年間も放置されていた。

忘れもしない2010年11月14日、ソーマ師から一通のお便りが届き、次いでお電話もいただいた。それは

協力要請の依頼であった。それまで私が住んでいた家が不便を極めていたために現在の家に転居したが、その際移しきれなくなった家財道具と加えて日本的な品々を購入し、船便でスリランカに送った。それらが文化センターの3階に展示されることになった。多くの方々の協力や寄進のおかげで完成をみた。このことを皮切りとして文化センターのプロジェクトがスタートした。

為我井氏との2回目の接点は2013年10月であった。私は1月の式典後に再度10月にスリランカを訪れたが、またお会いしたのは何かのご縁かもしれない。それは「民族博物館」への同行である。当館は、スリランカ文学の第一人者マーチン・ウィクラマシンハの没後、故郷コッガラ村に建てられたと聞き及ぶ。代表作『蓮の道』は日本語訳が野口忠司によって2002年に発行され、資料のひとつとして読破していた。私の心を読まれてか・・・ソーマ師がここへお誘い連れて下さったのである。

物語は無欲に至ったひとりの人物とその生涯を描いている。抜群のアジア人作家の文学作品としてフランス語にも翻訳されている。現題の『ウィーラーガヤ』は欲望からの解放と直訳される。仏教、キリスト教の両方の教えに通じるものではないかと思う。作者の誠実さ故に計り知れない辛酸をなめ、周りから冷酷視されてきた。然し、この性格を歪めようとは考えなかったと、何かで読んだことがある。ソーマ師も私の恩人たちもこの類に入る人柄である。

思い出すのは、おだやかにカーブする南海岸線で、ほっとする気持ちになれる空間である。私にとって感銘を受けた書物と、車窓の風景を往来していたら、椰子の木々が立つ広大な敷地に車が止められた。スリランカ南部に位置するこの場所で、時代のお落し子として生を受けた偉大な作家の生家。館内を歩くと薄暗い中、直筆原稿、著作物、愛用道具、往時を語る写真や品々・・・それらを大切に保存されている創意も見られた。以降、これっきりと心に置いていたことが、次々に覆されるスリランカでは蓮華活動の集大成になろうとは思ってもみなかった。蓮の道は仏の道、私はスリランカに足を入れ、着々2人3脚で歩かせていただいている。基点は、為我井氏のスリランカ友の会事務局長時代とは、不思議なご縁である。

（つづく）

「百花繚乱」 町田市内で見かけた可憐な花々を紹介します。



ミナヅキ (ピラミッドアジサイ)



ガクアジサイ



カシワアジサイ

YMCA NEWS

今月のことばは、有名な 5000 人の給食と言われる一節を取り上げました。5 個のパンと 2 匹の魚が多くの人のおなかを満たしたという話です。

この根底には心の持ちようという言葉が該当します。「これしかない」あるいは「ない」と考えるより「これだけある」「ある」という視点で考えることが重要だという事が伝えられています。要は心の持ちようでどうにでもなるという事です。人はいつまでも前向きに生きたいものです。

YMCA では、ウクライナの支援を継続しています。また、国際協力募金も継続して実施しています。これらの支援は緊急性のある支援では既になくなっていくところもありますが、継続的な支援をいただくことが必要です。

ご自宅に置いておけるような募金箱も用意がありますので、ご用意できればお渡しをしたいと思います。

9 月には、恒例のチャリティランが行われます。実際は江東区の木場公園で行われますが、バーチャル参加も可能なように現在調整中です。8 月上旬には、皆さんにお知らせが可能かと思えます。

これで、スマイリングクラブは一区切りとなりますが、今後ともよろしくお願ひします。

(諏訪治邦 記)

これからの予定

2023 年 7 月 6 日(木) 新クラブ発会式 19:00~20:30
会場：玉川学園コミュニティセンター 2 階会議室

- 例会日：第 3 水曜日 19:00~20:30 会場：玉川学園コミュニティセンター 玉川学園 駅北口 1 分
 - 第 2 例会：第 1 土曜日 13:30~15:00 会場：玉川学園コミュニティセンター 玉川学園 駅北口 1 分
- 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ：事務所：〒195-0061 東京都町田市鶴川 2-11-10-202 為我井輝忠気付
例会参加等申込先メール：howari3119@kib.biglobe.ne.jp 電話：090-2248-8609

★会費は下記の口座にお振込下さい。

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093 口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ